

れいはいはさいこうのしゅくふ



わたしを あいしてくださる かみさまに
さいこうの えいこうを ささげましょう

わたしと かみさまだけが
しっている おくぎ



いのり しかいしゃ
しとしんじょう みんなで
さんび さんびか 172 ばん (あめをふりそそぎ) わたしはレムナント (2019 ねんこどもさんび)
せいしよ しへん 78:70~72

詩篇78:70~72 主はまた、しもベダビデを選び、羊のおりから彼を召し、乳を飲ませる雌羊の番から彼を連れて来て、御民ヤコブとご自分のものであるイスラエルを牧するようにされた。彼は、正しい心で彼らを牧し、英知の手で彼らを導いた。

みことば わたしと かみさまだけが しっている おくぎ しかいしゃ

羊飼いのダビデには、ほかの人が知らない奥義がありました。誰もいない広い野原で神様の
みことばをじっくりと 考えました。福音のみことばが 幸せで 賛美しました。詩を書きました。
この時間を過ごして、神様の霊に満たされる 力が、どんどん湧き出てきました。神様からの
力で 羊を牧しました。神様からの 力で、獅子をやっつけて、結局、ゴリヤテに勝ちました。
それだけではありません。ダビデの賛美によって、悪いサタンは離れました。

ダビデのように、幸せに味わう奥義の時間はありますか。このとき、出てくる神様の力が
あってこそ、世の中を生かす専門性を準備できるのです。

いのり いっしょに おおきなこえて
いのりましょう

ちちなる かみさま、ありがとうございます！ みことばを もくそうして いのって さんびして
かみさまの れいに みたされる じかんと もつことが できますように。そのときに
でてくる ちからで このよを いかすことが できますように。いきておられる イエス・
キリストの おなまえによって おいのりします。アーメン

しゅのいのり いっしょに しゅのいのりを いのって れいはいを おえましょう
フォーラム きょうの みことばを きいて パパとママと はなしを しましょう

20 日	21 日	22 日	23 日	24 日	25 日
まいにち ✓ チェックしよう	げつよう	かよう	すいよう	もくよう	きんよう どうよう

あまくて ふしぎな かみさまの みことばを まいにち よみましょう。
よく みえる ところに はっておいて いっしゅうかん
くりかえし よんで みことばを おぼえましょう

げつようび

しゅ は また、

しもべ ダビデを えらび、

ひつじの おりから かれを めし、

ちちを のませる めひつじの

ばんから かれを つれてきて、

みたみ ヤコブと

ごじぶんの ものである イスラエルを

ぼくするように された。

かれは、ただしい ところで

かれらを ぼくし、

えいちの てで かれらを みちびいた。

しへん 78 しょう 70~71 せつの みことば

だれも いない ひろい のはらで かみさまの みことばを じっくりと
 かんがえたり ふくいんの みことばが しあわせで さんびを うたって
 しを かいていた ダビデのように みことばを もくそうする このじかんに
 かみさまの れいに みたされるように いのりましょう。
 かみさまが くださる ちからで ひつじを かつていた ダビデを
 かんがえながら あいている ところに つぎの ページから あう えを
 きりにとって はりましょう。

じゅんびする もの： はさみ のり つぎのページ

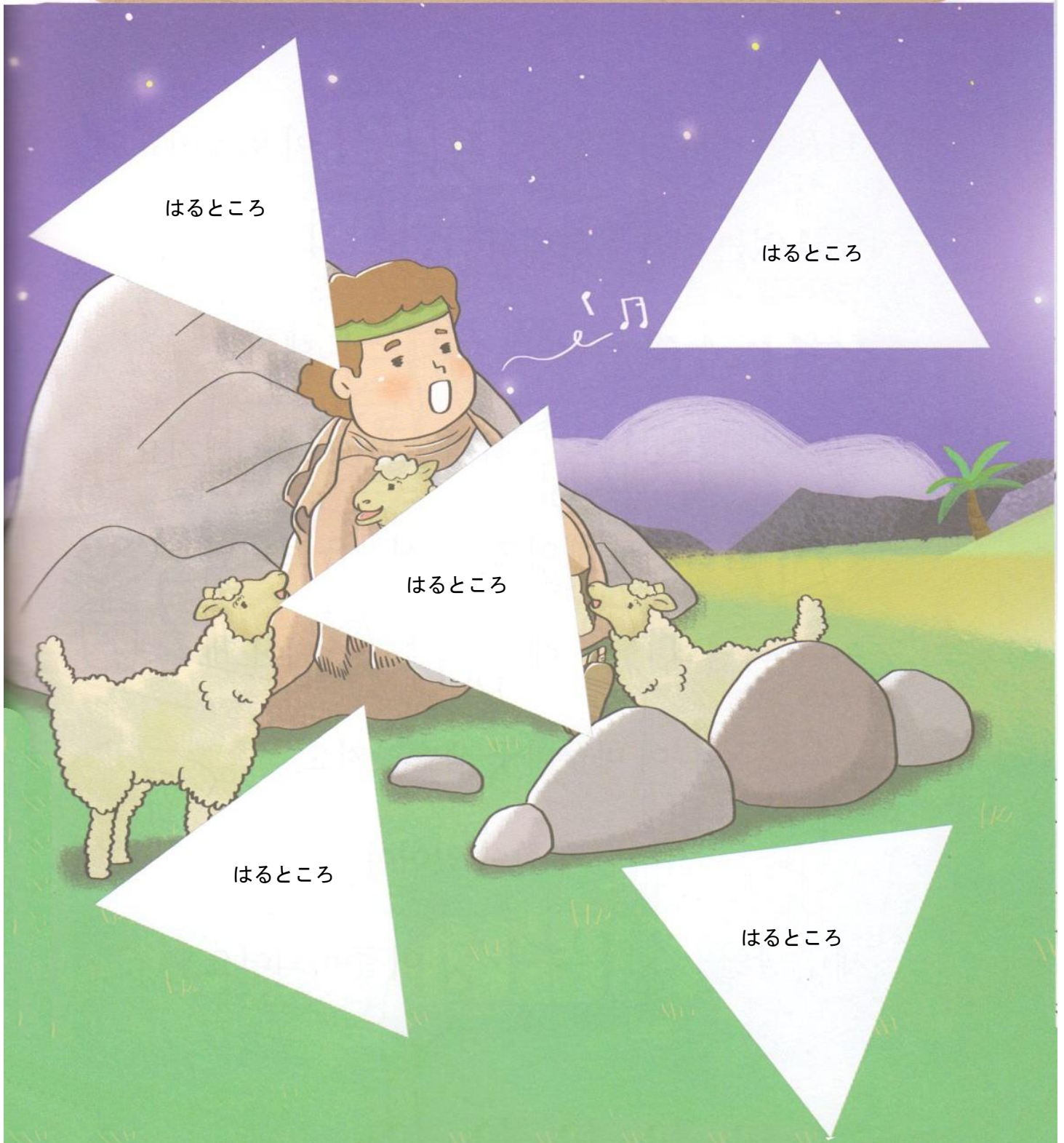
はるところ

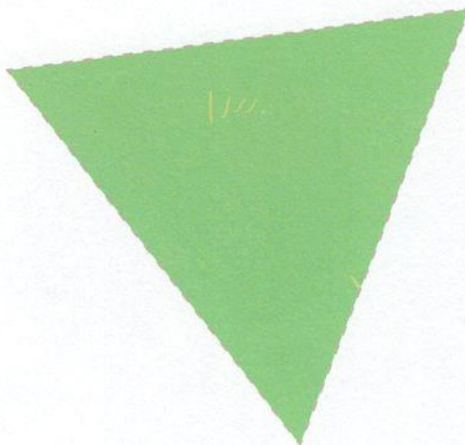
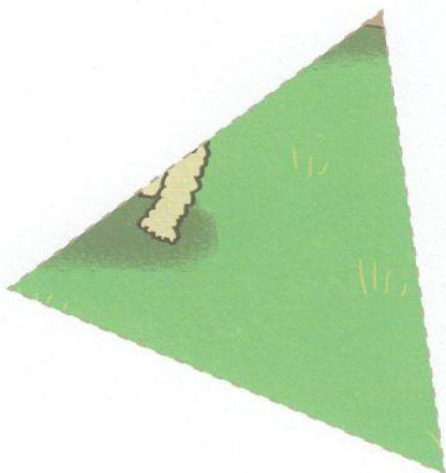
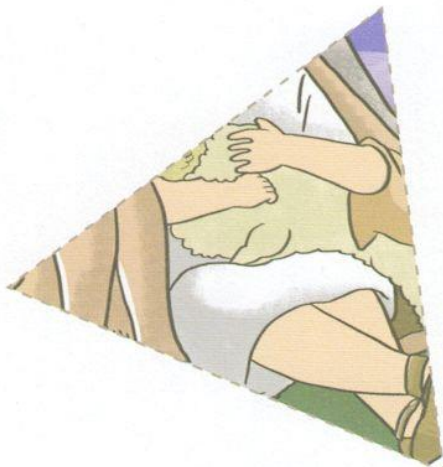
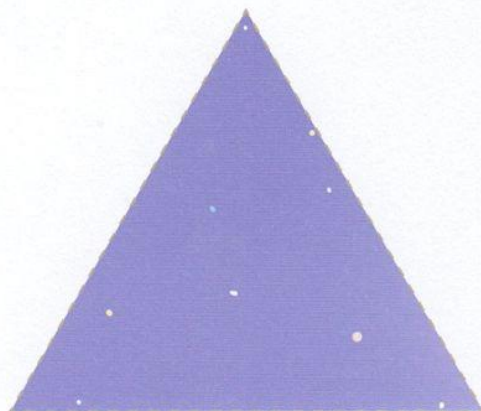
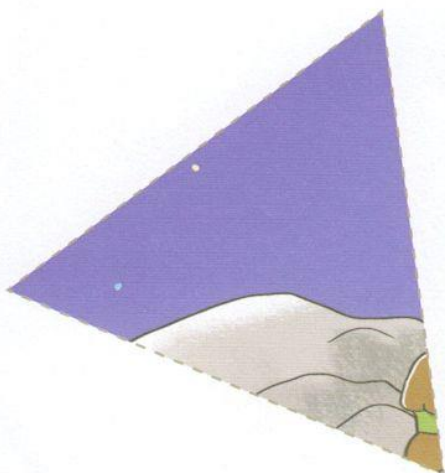
はるところ

はるところ

はるところ

はるところ





きょうも パパとママと いっしょに れいはいしましょう。
きょうの みことばで じゅうような たんごを もういちど
かんがえてみましょう。
したの ないようを よんで じゅうような たんごを
なぞって かきましょう。

ひつじかいの ダビデには、ほかのひとが しらない

おくぎ が ありました。

だれもない ひろい のはらで **かみさま** の

みことば を じっくりと **かんがえ** ました。

ふくいんの みことばが **しあわせ** で

さんび しました。**し** を かきました。

この じかんを すごして、かみさまの **れい** に

みたされる **ちから** が、

どんどん わきでてきました。

かみさまの ちからが あってこそ、

よのなかを いかす **せんもんせい** を

じゅんび できるのです。

かくれている えを みつけたり きれいに いろを
ぬったり しましょう

23

もくようび

かみさまの みことばによって しあわせなら かみさまに さんびしたい
ところが うまれます。わたしも ひとりで いる じかんに みことばで
ちからを うけて かみさまの れいに みたされていた ダビデの さんびで
わるい サタンが はなれた おくぎを わたしも おなじように
あじわうことが できます。 ともだちと いっしょに さんびする わたしの
すがたに きれいな いろを ぬりましょう。

じゅんぴするもの | いろをぬる どうぐ



ひょうげんしょう

ひそひそ

パパとママと いっしょに おはなしして
かみさまが よろこばれる かんがえ ことば こうどうを
えで ひょうげんしましょう。

24

きんようび

パパとママが じょうずに できることは なんでしょう。 わたしは
たのしくて さいごまで できることは なんでしょう。 わたしの タラントが
なにかを かぞくと いっしょに わかちあって えか じで ひょうげんしましょう。



わたしは かみさまと ともにいて しあわせです。あたたかい おへやに
すわって つぎの ページからの ダビデのはなしを よんで しゅじんこうと
たいわ してみましょう。ダビデが わたしに なにを はなしてくれるか
かんがえてみましょう。

どうぶ

じゅんぴするもの | つぎの ページからの おはなし

せいしょ どうわを よんで しゅじんこうに はなしてみよう



つぎの ページからの せいしょどうわを よんでみましょう。
しゅじんこうに いいたい ことばを かんがえましょう。
ページをめくって ふさわしい ばめんで しゅじんこうに はなしてみよう。
しゅじんこうが わたしに いってくれる ことばも かんがえましょう。
かみさまに かんしゃの いのりを して おわりましょう。

パパとママとよむせいしどうわ

かみさまと　ともに　いた
せいしよの　じんぶつ

ダビデ



こんにちは。ぼくはダビデ！

ぼくは　まきばで　ひつじの　ばんを　していたんだ。
あるひ　ぼくは　よげんしゃ　サムエルから　あぶらを　そそがれて
けいやくを　つたえて　もらうように　なったんだよ。
どんな　ことが　あったのか　しりたい？
じゃ、ぼくの　はなしを　よんでみてね。

こんにちは ほくの なまえは ダビデ。
ほくは いま のはらで ひつじの ばんを しているんだ。
ひつじの ばんを する しごとは らくでは ないけれど
ほくは この じかんが とても すきなんだ。
かみさまの ことを かんがえて さんびを して
しも かいて...



たまに ししや くまが きて ひつじを くわえて
いこうと することが あるんだ。
そのとき かみさまが くださる ちからで つよい けものを
いっぽつで たおすんだ





そんな ある ひ

ぼく いかい は だれ も い ない の は ら で
ひ つ じ の ぼ ん を し て い た ら

「ダビデ！ダビデ！ はやく いえに かえ っ て き て。

よ げ ん し ゃ の サ ム エ ル が こ ら れ て
あ な た に あ い た い っ て い わ れ て い る ！ 」

ぼく を よ び に き た ひ と が す こ し ま え に
い え で あ っ た こ と を は な し て く れ た。



よげんしゃ サムエルは かみさまの みことばに したがって
ダビデの おとうさんの いえに きて おとうさんに
むすこを すべて よびあつめる ようにと いわれた。
いちばん うえの おにいさんを みて「お、すてきで せが
たかい。 かみさまが あぶらを そそがれる ものだな！」と
いわれた。

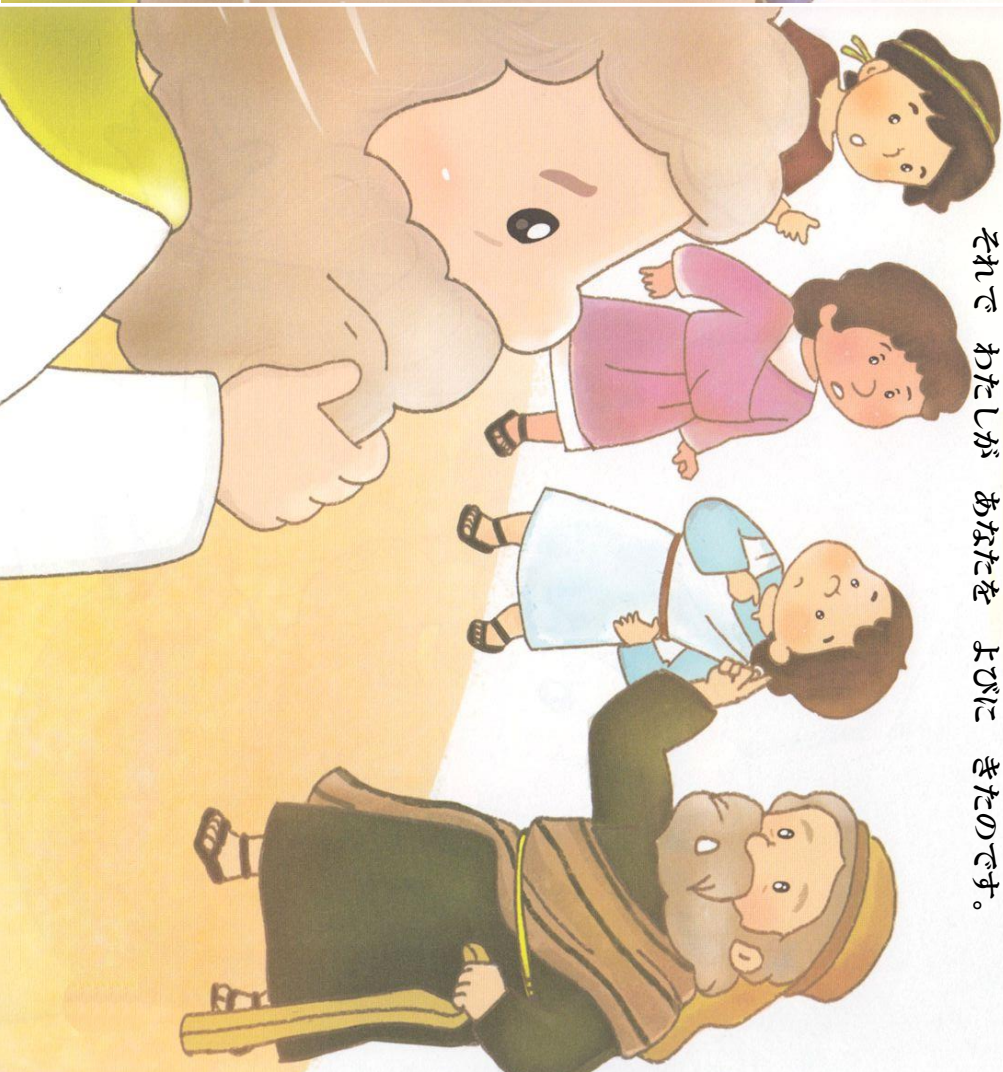
しかし かみさまは
「わたしは ひどが みるようには みない。
ひとは うわべを みるが、わたしは ころを みる！」と
いわれて にばんめの おにいさん、さんばんめの おにいさん
... さいごに ななばんめの おにいさん まで みんな
かみさまが えらばれた ものでは ないと いわれた。



「おお！ かみさま。 では いったい だれなのでしょうか」
よげんしゃの サムエルが ためいきを ついたとき
きゆうに おもいついて おとうさんに たずねた。

「この いえの むすこは これで ぜんぶですか」
「いいえ。 いちばん したの むすこが います。」
いま ひつじの ばんを して のはらに います。」
「だれか ひどを おくって そのこを つれてきなさい」

それで わたしが あなたを よびに きたのです。



ぼくが いえに ついた とたん よげんしやの サムエルが
ぼくを みて

「おお！ かみさまは きみだと おっしゃった！
ここに きなさい」と いわれた



よげんしやの サムエルは あぶらの つのを とって
ぼくの あたまに あぶらを そそいで いのってくださった。

これが なにかつて。
なぜ ぼくの あたまに あぶらを そそいだのかつて。
そのひから ぼくは かみさまの れいが はげしく

くだるようになつたんだ。
かんしやと よろこびが あふれて
もつと ちからが うまれたよ！

